

Point

J R 東海 大阪修繕車両所分会分会情報
No. 37 2010. 03. 23.
発行責任者 坂東 貞男
編集責任者 教 宣 部

N2事故 (GK破損事故) シリーズ① もっと早く異常に気づけなかったのか! ?

3月3日、JR西日本のN2編成がGK破損という重大な事故を発生させました。

事故から3週間ほど経ちましたが、今のところGK破損(小歯車のベアリング破損)の原因は発表されていません。

今回の事故では、GK破損の原因に注目が集まりますが、問題点はそれだけではありません。何故、GKのギアが外から見えるほどまで破損する前に異常が発見できなかったのか?ということについても考えて見なければなりません。

以下に、マスコミ報道等によってわかったN2編成の経過を簡単に整理してみました。

平成19年7月	新製
平成21年4月	全般検査
平成22年2月1日	台車検査
平成22年2月2日	本線試運転 (事故の当該GK 油が汚れていて更油)
平成22年2月3日	交番検査 (事故の当該GK 再度油が汚損して更油)
<u>【JR西日本は「異状の予兆だった可能性がある」としながら 「まれにあるケースで 作業自体は適性だった」と説明</u>	
平成22年3月3日	交番検査
そして、博多18;25発東京行「のぞみ56号」に充当	
⑫号車乗客	「 <u>広島駅を過ぎたころから床の辺から『ガタガタ』という異音が聞こえた、焦げ臭いにおいがしてきた</u> 」
⑫号車乗客	「岡山と姫路の間あたりで席の前方から白い煙が出てきた、モーターの異音が聞こえ、ゴムが焼けるようなにおいがした」
20:37頃	⑫号車乗客 「のぞみ56号が新神戸に向かっている時『車内で焦げ臭いにおいがして白煙が充満している』と110番通報」
20:40頃	のぞみ56号の車掌が「新神戸駅入駅前に床下異音と発煙の申告」と司令に報告
20:46頃	新神戸駅にて全乗客が下車、男性一人が不調を訴え病院に運ばれ警察と消防が⑫号車を調べたら「煙は確認できなかったが何か焦げたようなにおいがした、⑫号車の車輪付近から大量の油がもれているのを確認した」
22:23	のぞみ56号の運行を打ち切る。その後、 <u>新大阪駅までGK破損のまま回送、新大阪駅で仮搬送台車を装着し鳥飼基地へ回送。</u>

以上が、N2編成の検査履歴と事故当日の状況ですが、皆さんどう思われますか？